



令和6年度 9月末 主な漁業の実績状況 (速報)

1. さんま棒受網漁業 ぎょさい・積立ぶらす 加入実績 (単位: 百万円)

地区	令和6年度		令和5年度		増減 (R6-R5)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
室蘭	214	3	214	3	0	0
日高	312	4	353	5	△41	△1
釧路	1,072	15	1,386	20	△314	△5
根室	2,507	37	3,530	53	△1,023	△16
合計	4,105	59	5,483	81	△1,378	△22

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。(R5)

2. 秋さけ定置漁業 ぎょさい・積立ぶらす 加入実績 (単位: 百万円)

地区	令和6年度		令和5年度		増減 (R6-R5)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小樽	1,558	126	1,450	113	108	13
桧山	265	21	279	19	△14	2
函館	534	146	622	137	△88	9
室蘭	1,136	282	1,304	232	△168	50
日高	2,206	589	2,523	511	△317	78
釧路	1,861	532	1,989	500	△128	32
根室	5,468	1,533	6,115	1,353	△647	180
北見	12,979	1,984	12,381	2,002	598	△18
稚内	3,842	361	3,629	364	213	△3
留萌	432	63	447	56	△15	7
合計	30,281	5,637	30,739	5,287	△458	350

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。(R5)

令和六年度上半期、大宗漁業・養殖業の加入(速報値)がまとまる
 「ほたて貝等養殖業」で加入実績増加

本年度は依然として続く国際情勢の悪化とインフレ・円安による燃油・資材価格の高騰、アルプス処理水放出に伴う風評被害の影響等、極めて厳しい漁業環境下での推進となりましたが、上半期の大宗漁業である「さんま棒受網漁業」、「秋さけ定置漁業」、噴火湾地域等の「ほたて貝等養殖業」のぎょさい・積立ぶらす並びに「漁業施設(秋さけ定置漁具)」のぎょさい加入実績がまとまりました

【さんま棒受網漁業】
 近年の不漁の影響による補償水準(共済限度額)の低下に加え、休漁・廃業による減少が多く、全道合計ではぎょさい(共済金額・以下同じ)で前年度より十三億七千八百円減の四十一億五千万円、積立ぶらす(漁業者積立金額・以下同じ)で二千二百万円減の五千九百万円の実績となりました。

【秋さけ定置漁業】
 一部の地区では補償水準の上昇があったものの、近年の来遊不振の影響による補償水準の低下や休漁等により減少となったため、全道合計ではぎょさいで前年度より四億五千八百万円減少し、三百二億八千一百万円の実績となりました。また、積立ぶらすはクロマグロ強度資源管理による下げ止めの継続実施等により三億五千万円増加し、五十六億三千七百万円となりました。



3. ほたて貝等養殖業 ぎょさい・積立ぷらす 加入実績 (単位：百万円)

地区	令和6年度		令和5年度		増減 (R6-R5)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小樽	190	9	153	8	37	1
函館	8,401	371	6,520	353	1,881	18
室蘭	781	65	841	75	△60	△10
北見	680	26	542	24	138	2
合計	10,052	471	8,056	460	1,996	11

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。(R5)

【ほたて貝等養殖業】
室蘭地区では、補償水準の低下や休漁・廃業等による減少があったものの、函館地区を中心に各地区で契約割合の引上げが大きく図られたことにより、全道合計ではぎょさいで前年度より十九億九千六百万円増加し、百億五千万円、積立ぷらすは四億七千一百万円の実績となりました。

4. 漁業施設(秋さけ定置漁具) ぎょさい加入実績 (単位：百万円)

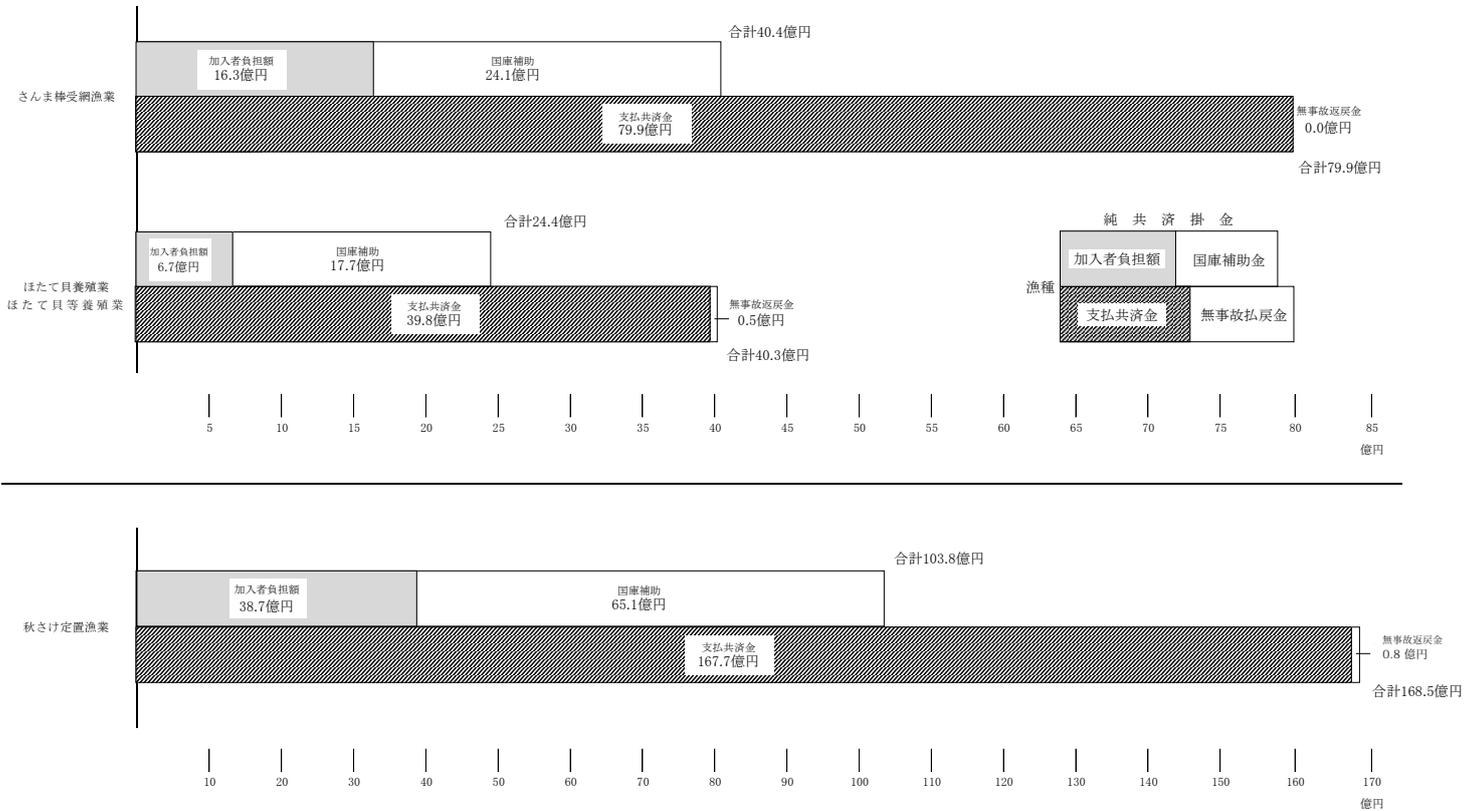
地区	令和6年度		令和5年度		増減 (R6-R5)	
	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額
小樽	38	285	40	255	△2	30
桧山	2	18	2	18	0	0
函館	0	0	0	0	0	0
室蘭	11	130	11	121	0	9
日高	20	322	20	329	0	△7
釧路	54	880	54	929	0	△49
根室	40	504	42	562	△2	△58
北見	133	2,397	133	2,450	0	△53
稚内	2	13	2	13	0	0
留萌	4	34	4	36	0	△2
合計	304	4,583	308	4,713	△4	△130

【漁業施設(秋さけ定置漁具)】
小樽地区の岩内郡漁協で新規加入がありました。小樽・根室地区での休漁・廃業、各地区で使用期間増に伴う共済価格の低下があったこと等により、全道合計では前年度より件数で四件、一億三千万円減少し、三百四件、四千五百八十三百万円の実績となりました。





5. 上半期引受 太宗漁業・養殖業の共済収支(平成31年度から令和5年度までの直近5か年累計)



【上半期新規加入速報】

五月の責任開始でひやま漁協乙部・江差両地区での中型台併漁業、六月の責任開始で落部漁協でいか釣り漁業、九月の責任開始で岩内郡漁協の漁業施設(秋さけ定置漁具)が新規加入となりました。

また、各種漁業・養殖業で契約割合の引上げ、てん補方式の拡充が図られております。

関係各位のご理解・ご協力に感謝を申し上げます。

下半期には、すけとうだら刺し網漁業、こんぶ養殖業、ほたて貝桁網漁業、こんぶをとる漁業、各種漁船漁業が加入時期を迎えますが、漁業経営の後ろ盾として、ぎょさいと積立ぶらすとのセット加入を引き続き推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。



ぎよさい
積立ぶらす

安心

経営

